



1. プログラム概要

外務省では、令和5年度「対日理解促進交流プログラム」の一環として、「MIRAIプログラム」との名前で、日本の政治・社会・歴史及び外交政策に関する理解促進や日本の魅力等の積極的な発信を目的とし、欧州・中央アジア・コーカサス地域から、将来の活躍が期待される大学生・大学院生及び若手実務者88名を招へいしました。また、23名を対象にオンライン交流を実施しました。

本プログラムでは、地域又はテーマ毎に計7グループに分けました。

対面招へいでは、第1グループ（西バルカン地域「平和構築」）は令和6年2月14日から2月20日まで、第2グループ（外交・安全保障）は令和5年11月15日から11月21日まで、第3グループ（経済・ビジネス）は令和5年11月15日から11月21日まで、第4グループ（科学・技術）は令和6年2月14日から2月20日まで、第5グループ（環境・グリーン）は令和5年11月15日から11月21日まで、第6グループ（中央アジア・コーカサス地域「法の支配」）は令和6年1月16日から1月22日まで、それぞれ実施しました。

オンライン訪日（交流）の第7グループ（文化・地方発見）では、令和5年10月7日（土）から10月20日の間に10日間のオンラインプログラムを実施しました。

参加者は、行政機関での講義の他、企業訪問、大学訪問、地方訪問、文化体験を通じ、日本を取り巻く国際情勢や日本の社会・経済・科学技術について理解を深めました。日程を終えた参加者からは、今後も日本に関心を持ち続け、またプログラムで育んだ日本との繋がりや学生交流で生まれた友情を大切にしていきたいとの思いも聞かれており、帰国後にそれぞれSNSやその他のメディアを通じて、日本で学んだことや日本の魅力等を積極的に発信しています。この様に、本プログラムは、国際社会における対日イメージの向上や、日本に対する関心を持続的に高める役割を果たしています。

2. 参加国・人数及び訪問地

第1グループ（平和構築）

選出国 西バルカン諸国6カ国（国籍 6カ国），14名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	アルバニア	2	5	モンテネグロ	1
2	コソボ	2	6	北マケドニア	2
3	セルビア	3		RYCO（引率・セルビア）*	1
4	ボスニア・ヘルツェゴビナ	3			
総計					14

（訪問地：東京都、広島県）

*西バルカン地域青年協力機構（RYCO）

第2グループ（外交・安全保障）

選出国 欧州13か国（国籍13），13名

No.	国名	人数 (名)	No.	国名	人数 (名)
1	イタリア	1	8	フィンランド	1
2	エストニア	1	9	フランス	1
3	オーストリア	1	10	ベルギー	1
4	スウェーデン	1	11	ラトビア	1
5	スペイン	1	12	ルクセンブルク	1
6	ドイツ	1	13	英国	1
7	ハンガリー	1			
総計					13

（訪問地：東京都）

*選出国ベルギーから、オランダ国籍1

*選出国ルクセンブルクから、トルクメニスタン国籍1

第3グループ（経済・ビジネス）

選出国 欧州10カ国（国籍9カ国），10名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アンドラ	1	6	フランス	1
2	スイス	1	7	ベルギー	1
3	スロバキア	1	8	ポルトガル	1
4	デンマーク	1	9	リトアニア	1
5	ドイツ	1	10	英国	1
総計					10

（訪問地：東京都，山梨県）

第4グループ（科学・技術）

選出国 欧州14カ国（国籍14カ国），14名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	イタリア	1	8	フランス	1
2	オランダ	1	9	ブルガリア	1
3	キプロス	1	10	ベラルーシ	1
4	ギリシャ	1	11	ポーランド	1
5	スペイン	1	12	モルドバ	1

6	チェコ	1	13	ルーマニア	1
7	ドイツ	1	14	英国	1
総計					14

(訪問地：東京都, 茨城県)

*選出国フランスから, スペイン国籍 1

第5グループ (環境・グリーン)

選出国 欧州 14カ国 (国籍 14カ国), 14名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アイルランド	1	8	スロベニア	1
2	アイルランド	1	9	ドイツ	1
3	イタリア	1	10	ノルウェー	1
4	ウクライナ	1	11	フランス	1
5	クロアチア	1	12	マルタ	1
6	サンマリノ	1	13	モナコ	1
7	スペイン	1	14	英国	1
総計					14

(訪問地：東京都, 山梨県)

第6グループ (法の支配)

選出国 中央アジア・コーカサス地域 8カ国 (国籍 8カ国), 23名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アゼルバイジャン	1	5	キルギス	2
2	アルメニア	2	6	ジョージア	2
3	ウズベキスタン	2	7	タジキスタン	4
4	カザフスタン	7	8	トルクメニスタン	3
総計					23

(訪問地：東京都, 山梨県)

第7グループ (文化・地方発見) : オンライン交流

選出国 欧中及び中央アジア・コーカサス地域 21カ国 (国籍 22カ国), 23名

No.	国・機関名	人数 (名)	No.	国・機関名	人数 (名)
1	アゼルバイジャン	1	12	スロバキア	1
2	アルバニア	1	13	セルビア	1

3	アンドラ	1	14	タジキスタン	1
4	イタリア	2	15	デンマーク	1
5	オーストリア	1	16	トルクメニスタン	1
6	オランダ	2	17	ブルガリア	1
7	キルギス	1	18	ベラルーシ	1
8	コソボ	1	19	ベルギー	1
9	サンマリノ	1	20	ラトビア	1
10	スウェーデン	1	21	リトアニア	1
11	スペイン	1			
総計					23

(オンライン訪問地：沖縄県, 広島県, 大阪府, 奈良県, 静岡県, 東京都, 北海道)

*選出国オランダから, スロベニア国籍 1, マルタ国籍 1,

*上記 23 名は修了要件を満たした者の人数 (プレプログラム 24 か国 28 名、本プログラム 21 か国 25 名)

3. 日程

1) プレプログラム (事前学習)

9月30日 (土曜日) から 動画配信

10月6日 (金曜日) 対日理解促進交流プログラム「MIRAI」事業概要説明
外務省講義「日本と国連」

10月7日 (土曜日) オンライン 合同オリエンテーション
日本理解講義、グループディスカッション

2) 招へいプログラム

第1グループ (平和構築) 西バルカン地域

2月14日 (水曜日) 本邦着

来日時オリエンテーション

2月15日 (木曜日) 【テーマ関連講義】外務省講義

【テーマ関連講義・意見交換】独立行政法人国際協力機構 (JICA)

2月16日 (金曜日) 【学校交流・講義】上智大学 (四谷キャンパス)

(ワークショップを通じた大学・大学院生との意見交換・交流)

東京都から広島県へ移動

2月17日 (土曜日) 【テーマ関連講義・視察】sokoiko!広島ピースツアー

【テーマ関連視察】広島平和記念資料館

【日本文化体験】書道体験

2月18日 (日曜日) 【視察】宮島

広島県から東京都へ移動

2月19日 (月曜日) 【視察】浅草寺

【ワークショップ】 報告会準備
【表敬訪問】 外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
【報告会】 外務省 訪日成果, 帰国後の活動計画発表

2月20日(火曜日) 本邦発

第2グループ(外交・安全保障) 欧州諸国

11月15日(水曜日) 本邦着
来日時オリエンテーション
【テーマ関連講義】 外務省講義

11月16日(木曜日) 【テーマ関連講義・視察】 株式会社ラック
【学校交流・講義】 慶應義塾大学
(講義聴講, 大学・大学院生との意見交換・交流)

11月17日(金曜日) 【テーマ関連講義】 明治大学 公共政策大学院 ガバナンス研究科
【テーマ関連講義・視察・意見交換】 独立行政法人 国際協力機構
(JICA) 緒方貞子平和開発研究所

11月18日(土曜日) 【視察】 浅草寺
【視察】 六義園
【テーマ関連視察】 領土・主権展示館

11月19日(日曜日) 【テーマ関連視察】 陸上自衛隊広報センター「りっくんランド」
【視察・文化体験】 東京国立博物館, 茶道体験

11月20日(月曜日) 【テーマ関連講義・意見交換】 防衛省講義
【ワークショップ】 報告会準備
【表敬訪問】 外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
【報告会】 外務省 訪日成果, 帰国後の活動計画発表

11月21日(火曜日) 本邦発

第3グループ(経済・ビジネス) 欧州諸国

11月15日(水曜日) 本邦着
来日時オリエンテーション

11月16日(木曜日) 【テーマ関連講義・視察】 株式会社TBM
【テーマ関連視察】 東証 Arrows
【テーマ関連視察・講義】 国連大学サステイナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)

11月17日(金曜日) 【学校交流・講義】 一橋大学(国立キャンパス)
(ワークショップを通じた大学・大学院生との意見交換・交流)

11月18日(土曜日) 【視察】 忍野八海(世界遺産構成資産登録)
【視察】 北口本宮富士浅間神社
【講義・視察】 山梨県立富士山世界遺産センター

- 11月19日（日曜日） 【テーマ関連講義・視察】 Invest Tokyo（東京都支援プログラム）
東京開業ワンストップセンター（TOSBEC）開催セミナー、スタートアップハブツアー
【日本文化体験】 浴衣・茶道体験
- 11月20日（月曜日） 【テーマ関連講義・視察】 浅草商店連合会, 浅草
【ワークショップ】 報告会準備
【表敬訪問】 外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
【報告会】 外務省 訪日成果, 帰国後の活動計画発表
- 11月21日（火曜日） 本邦発

第4グループ（科学・技術）欧州諸国

- 2月14日（水曜日） 本邦着
来日時オリエンテーション
- 2月15日（木曜日） 【学校交流・講義】 芝浦工業大学
（ワークショップを通じた大学・大学院生との意見交換・交流）
- 2月16日（金曜日） 【テーマ関連視察】 パナソニックセンター東京
【テーマ関連視察】 国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター
茨城県へ移動
- 2月17日（土曜日） 【テーマ関連視察・質疑応答】 CYBERDYNE STUDIO
【視察】 茨城県立歴史館
【日本文化体験】 鎧兜, 十二単試着体験（茨城県立歴史館内）
- 2月18日（日曜日） 【テーマ関連視察】 筑波宇宙センター（JAXA）
茨城県から東京都へ移動
- 2月19日（月曜日） 【日本文化体験】 茶道体験
【視察】 浅草
【ワークショップ】 報告会準備
【表敬訪問】 外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
【報告会】 外務省 訪日成果, 帰国後の活動計画発表
- 2月20日（火曜日） 本邦発

第5グループ（環境・グリーン）欧州諸国

- 11月15日（水曜日） 本邦着
来日時オリエンテーション
- 11月16日（木曜日） 【テーマ関連視察】 株式会社ユーグレナ
【学校交流・講義】 早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科
（テーマ関連講義聴講, 大学・大学院生との意見交換・交流）
- 11月17日（金曜日） 【テーマ関連視察】 東芝未来科学館

- 【テーマ関連講義】国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発
- 11月18日（土曜日） 【視察】忍野八海（世界遺産構成資産登録）
 【視察】北口本宮富士浅間神社
 【講義・視察】山梨県立富士山世界遺産センター
- 11月19日（日曜日） 【視察・文化体験】東京国立博物館, 茶道体験
 【視察】深川歴史資料館
- 11月20日（月曜日） 【テーマ関連講義】経済産業省 産業技術政策局 環境政策課
 【ワークショップ】報告会準備
 【表敬訪問】外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
 【報告会】外務省 訪日成果, 帰国後の活動計画発表
- 11月21日（火曜日） 本邦発

第6グループ（法の支配）中央アジア・コーカサス地域

- 1月16日（火曜日） 本邦着
 来日時オリエンテーション
 【テーマ関連講義】外務省講義
- 1月17日（水曜日） 【視察】東京タワー
 【学校交流・講義】慶應義塾大学 大学院 法務研究科
 （テーマ関連講義聴講, 大学・大学院生との意見交換・交流）
- 1月18日（木曜日） 【テーマ関連講義・視察】西村あさひ法律事務所
 【テーマ関連講義・視察】最高裁判所
- 1月19日（金曜日） 【テーマ関連講義・視察】法務省 国際連合アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）
- 1月20日（土曜日） 【テーマ理解講義・テーマ関連講義】浅草商店連合会
 【視察】浅草寺, 浅草神社, 伝法院, 花やしき
 【文化体験】茶道体験
- 1月21日（日曜日） 【視察】忍野八海（世界遺産構成資産）
 【視察】北口本宮富士浅間神社
 【講義・視察】山梨県立富士山世界遺産センター
- 1月22日（月曜日） 【ワークショップ】報告会準備
 【報告会】外務省 訪日成果, 帰国後の活動計画発表
 本邦発

3) オンライン訪日（交流）プログラム

- 10月7日（土曜日） （合同オリエンテーション）日本理解講義, グループディスカッション
- 10月10日（火曜日） 沖縄県西表島バーチャル視察, 講義, グループディスカッション

- 10月11日（水曜日） 広島県 sokoiko! 広島ピースツアー, グループディスカッション
- 10月13日（金曜日） 大阪府バーチャル視察, 講義, グループディスカッション
- 10月14日（土曜日） 日本文化体験（日本刀）, グループディスカッション
- 10月16日（月曜日） 静岡県バーチャル視察, 講義, グループディスカッション
- 10月17日（火曜日） 奈良県オンライン学校交流（講義聴講, 奈良国立大学機構奈良教育
大学, 奈良女子大学の学生との交流）
- 10月18日（水曜日） 北海道小樽バーチャル視察, グループディスカッション
- 10月19日（木曜日） ワークショップ（報告会の準備）
- 10月20日（金曜日） オンライン訪日の成果・参加後の活動計画発表

4. MIRAI プログラム記録写真

第1グループ（西バルカン諸国・平和構築）



2月14日【オリエンテーション】



2月15日【テーマ関連講義】外務省



2月15日【テーマ関連講義・意見交換】独立行政法人 国際協力機構（JICA）



2月16日【学校交流】上智大学（四ツ谷キャンパス）



2月17日【テーマ関連講義・視察】「sokoiko! 広島ピースツアー（株式会社 mint）」集合写真



2月17日【日本文化体験】書道体験（アステールプラザ工作実習室）



2月18日【視察】宮島



2月19日【視察】浅草寺



2月19日【表敬訪問】外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官



2月19日【報告会】訪日成果、帰国後の活動計画発表

第2グループ（外交・安全保障）



11月15日【テーマ関連講義】外務省ブリーフィング



11月16日【テーマ関連講義・視察】株式会社ラック



11月16日【学校交流】慶應義塾大学



11月17日【テーマ関連講義】明治大学公共政策大学院



11月17日【テーマ関連講義・視察・意見交換】
JICA 緒方貞子平和開発研究所



11月18日【視察】六義園



11月18日【テーマ関連講義】領土・主権展示館



11月19日【テーマ関連視察】陸上自衛隊広報センター



11月19日【文化体験】茶道体験



11月20日【テーマ関連講義・意見交換】防衛省講義



11月20日
【報告会】外務省
【表敬】外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
(写真：外務省提供)

第3グループ（経済・ビジネス）



11月15日【来日時オリエンテーション】



11月16日【テーマ関連講義・視察】（株）TBM



11月16日【テーマ関連視察】東証 Arrows



11月16日【テーマ関連視察・講義】国連大学サステイナビリティ高等研究所（UNU-IAS）



11月17日【学校交流】一橋大学



11月17日【学校交流】一橋大学



11月18日【視察】忍野八海（世界遺産構成資産登録）



11月18日【視察】北口本宮富士浅間神社



11月18日【講義・視察】山梨県立富士山世界遺産センター



11月19日【テーマ関連講義・視察】Invest Tokyo（東京都支援プログラム）



11月19日【日本文化体験】浴衣



11月19日【日本文化体験】茶道



11月20日【テーマ関連講義・視察】浅草



11月20日
【報告会】外務省
【表敬】外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
 (写真：外務省提供)

第4グループ

	
<p>2月14日【オリエンテーション】来日時オリエンテーション</p>	<p>2月15日【学校交流】芝浦工業大学</p>
	
<p>2月16日【テーマ関連視察】パナソニックセンター東京</p>	<p>2月16日【テーマ関連視察】国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター</p>
	
<p>2月17日【テーマ関連視察】サイバーダイナスタジオ</p>	<p>2月17日【日本文化体験】鎧兜、十二単試着体験 (茨城県立歴史館内)</p>
	
<p>2月18日【テーマ関連視察】筑波宇宙センター (JAXA)</p>	<p>2月19日【日本文化体験】茶道体験 (浅草茶禅にて)</p>



2月19日【視察】浅草（浅草寺など）



2月19日【表敬訪問】外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官



2月19日【報告会】訪日成果、帰国後の活動計画発表

第5グループ



11月15日【来日時オリエンテーション】



11月16日【テーマ関連視察】株式会社ユーグレナ



11月16日【学校交流】早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科



11月17日【テーマ関連視察】東芝未来科学館



11月17日【テーマ関連講義】新エネルギー・産業技術総合開発機構



11月18日【視察】忍野八海（世界遺産構成資産）



11月18日【講義・視察】山梨県立富士山世界遺産センター



11月19日【文化体験】茶道体験



11月19日【視察】深川歴史資料館



11月20日【テーマ関連講義】経済産業省



11月20日
【報告会】外務省
【表敬】外務省 深澤 陽一 外務大臣政務官
(写真：外務省提供)

第6グループ



1月16日【テーマ関連講義】外務省基調講演



1月17日【視察】東京タワー



1月17日【学校交流】慶應義塾大学院法務研究科



1月18日【関連講義・視察】西村あさひ法律事務所



1月18日【テーマ関連講義・視察】最高裁判所



1月19日【テーマ関連講義・視察】法務省 国際連合アジア極東犯罪防止研修所 (UNAFEI)



1月20日【テーマ関連講義】浅草商店連合会



1月20日【視察】浅草寺



1月20日【視察】伝法院



1月20日【日本文化体験】茶道体験



1月21日【視察】忍野八海（世界遺産構成資産登録）



1月21日【視察】北口本宮富士浅間神社



1月21日【講義・視察】山梨県立富士山世界遺産センター



1月22日【報告会】

第7グループ



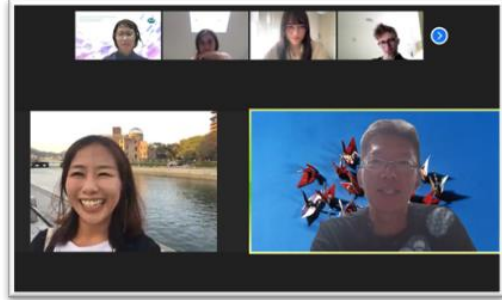
10月7日【日本理解講義】「日本との出会い」



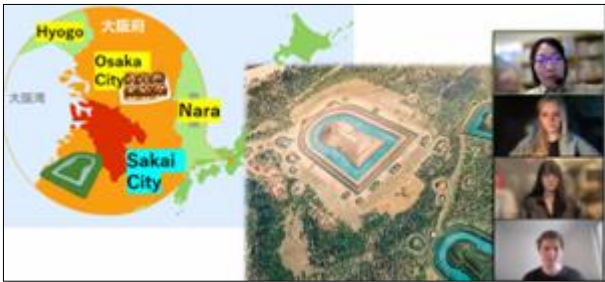
10月7日 記念撮影



10月10日【講義・視察・交流・ホームビジット】農家民宿「マナ」



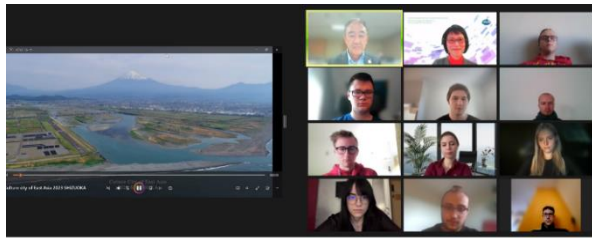
10月11日【視察・交流】「sokoiko! 広島ピースツアー」



10月13日【視察・交流】バーチャルツアー：「関西、大阪の魅力紹介」



10月14日【日本文化体験】バーチャルツアー：「日本刀」



10月16日【講義・視察】「東アジア文化都市 2023 静岡県」



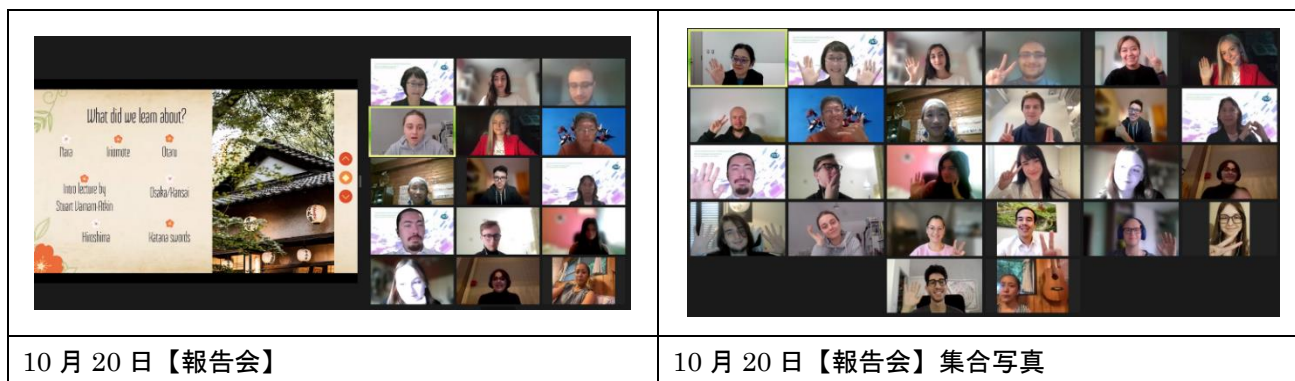
10月17日【講義・学校交流】奈良国立大学機構奈良教育大学、奈良女子大学



10月18日【視察・交流】バーチャルツアー：「北海道の美しい港町、小樽バーチャルツアー」



10月19日【ワークショップ】



5. 参加者の感想（抜粋）

第1グループ（西バルカン・平和構築）

オンラインプログラム

◆ セルビア 大学生

プログラムすべての側面で感銘を受けましたが、特に、ステュウット・ヴァーナム-アットキンさんの「日本との出会い」の講義が印象的でした。日本で生まれ育っていないにもかかわらず、日本の伝統や文化など知識の奥深さには驚かされました。特に、長年収集してきたという日本の品物やお土産のコレクションに魅了され、いつか実際に自分の目で見て、自分で収集したいと思うようになりました。講義をさらに楽しいものしてくれたのは、ステュウットさんのプレゼンテーションスタイルです。彼の機知に富んだジョークに私は何度も笑わされ、心地よさを感じました。さらに、グループ別プログラムは私にとって大切なものとなりました。MIRAIの仲間たちと出会い、期待や感想を共有し、友情を育むことは、私がこのプログラムに参加した理由の一つだからです。私たちはソーシャルメディア上でつながりましたが、訪日プログラムで直接会えることを心から楽しみにしています。このプレプログラムは、MIRAI本プログラム参加への、さらなる期待と興奮をもたらしてくれるものとなりました。

招へいプログラム：

◆ 北マケドニア 大学生

広島訪問は感動的で多くのことを学ぶ機会になり、プログラムの中で最も印象的でした。原爆投下から街を復興させた広島の人々の希望や意志から、強く平和を願う気持ちが伝わってきました。原爆の被害をこの世から無くそうとする被爆者たちの思いを、私たちは大切にしなければと思います。また、上智大学の学生との交流は活発で、日本人の学生と知り合いになることができました。カトリック系の大学でありながら、ハラール料理を提供するという包摂性が印象深かったです。

◆ モンテネグロ 社会人

上智大学を訪問し、どのような大学か見学する機会に恵まれました。自国の学生だけでなく、外国人学生にも門戸を開いており、ハラール料理を提供するカフェも併設している点が印象的でした。学生と交流をして、日本で修士号をとりたいという思いが強くなりました。

第2グループ（外交・安全保障）

オンラインプレプログラム

◆ ルクセンブルグ 大学院生

ステュウット・ヴァーナム-アットキンさんの講義と合わせたオンラインオリエンテーションでは、日本文化の魅力と洞察的な一面を見ることができました。「日本との出会い」に関する講義は、教育的でありながらも魅力的で、日本のダイナミックな文化、現代アート、そして今後も継承されるであろう伝統について深く洞察したもので、完璧なバランスを保っていました。

私は参加者として、日本社会に深く入り込んだ外国人の視点を通して日本の風習について探求するという特権を得ました。彼の豊かな経験や深い専門知識は、私たちの学びの旅を豊かにしてくれました。講義が終わる頃までには、私は日本や日本人、日本の伝統に対する理解を深めていました。さらに、グループ別プログラムは私たちが互いを知り、プログラムに対する当初の考えや期待について意見交換をする絶好の場となりました。日本の外交政策という同じ関心をもつ仲間と交流することは、本当に勉強になりました。

招へいプログラム

◆ オーストリア 大学院生

特に印象的だったのは慶応義塾大学の学生たちとの交流でした。欧州社会に興味をもっていただけでなく、私たちの日本に関する質問にも快く答えてくれていました。

このプログラムを通して、如何に欧州諸国が恵まれているかを知ることができました。日本は核を保有している3カ国に囲まれ、特定の国が威圧し上空をミサイルが飛ぶ状況を日本人がどのように受け止めているかを私は想像もできません。

このような状況下で日本が冷静に平和的外交を続けているのには目を見張るものがあると思います。（もちろん正しいことであると理解しています）

◆ ドイツ 大学院生

慶応義塾大学で学生たちと会い、気軽に話すことができ良かったです。JICAのプログラムも強く印象に残っています。人間の安全保障について多く学べただけでなく、欧州諸国における人間の安全保障についても知ることができました。

また、特によかったのが領土・主権展示館でした。日本が、中国とロシアが日本の領土に対して主権を訴えている状況下にあるということを今回の訪問で初めて知りました。

◆ スペイン 大学院生

特に印象に残っているのは、詳細にまで配慮して、プログラム全体が構成されていることでした。特定のプログラムでは、慶応義塾大学での講義と学生たちとの交流が印象に残っています。講師陣が素晴らしく、豊富な知識とご経験があり、どのような質問にも丁寧に答えて下さいました。学生たちも素晴らしく、知り合えて良かったです。お互いのSNSも交換しました。

第3グループ

オンラインプログラム

◆ ベルギー 大学生

日本に関するとても正確で重要な情報を伝えていただいたことが印象に残っています。ステュウツ

ト・ヴァーナム-アットキンさんが教えてくれた細かなこと、特に日本のお箸の歴史や招き猫、お米を計る小さな計量器の話が気に入りました。このような細かなことが、日本では違いを生み出します。グループ別プログラムの交流は、お互いのことや自分たちの生活について詳しく話をすることができ、とても素晴らしい時間になりました。

招へいプログラム

◆ イギリス 大学生

浴衣や茶道などの日本文化体験はとても印象的でした。日本の伝統文化について学び、自分たちでも試すことができたのは、とても魅力的な体験でした。一橋大学への訪問もとても印象的で、一流の教授から学び、日本の学生と知り合うことができたのは素晴らしい経験でした。

◆ ポルトガル 大学院生

TBM はとても興味深く、彼らの革新的な製品やビジネス戦略について学ぶことができよかったです。TBM のスタッフが、ヨーロッパでどのように製品を使うことができるか、私たちの意見を聞いてくれ、一緒に議論してくれたことがとても嬉しかったです。TBM がポルトガルの会社と連絡をとっていることも嬉しかったです。

◆ リトアニア 社会人

最も心に残った瞬間をいくつか挙げるとすれば、茶道、外務省訪問、TBM、証券取引所、インベスト東京、浴衣体験でしょうか。また、富士山と山梨県を訪れ、その過去と未来の課題を知ったことは、息をのむような体験でした。

第4グループ（科学・技術）

オンラインプログラム

◆ イタリア 大学院生

ステュウット・ヴァーナム-アットキンさんの講義に本当に魅了されました。印象的な日本文化について多くの見識を共有してくれました。外国人であるにも関わらず長年日本に住み、日本のコミュニティに深く溶け込んでいることを感じました。これは、日本人の開放性と素晴らしいホスピタリティを表しています。日本文化について、さらに多くのことを学ぶのが楽しみです。第4グループの同窓生との交流の時間では、同窓生の中には、既に日本語や日本文化に精通している人がいることがわかりました。私のように、日本の世界に初めて出会った人もいます。これは私たちにとって、日本の素晴らしさを探究することにおいて互いがサポートし合い強固な協力関係を作る上で理想的な機会になりました。

招へいプログラム

◆ オランダ 大学院生

日本の人々、企業、研究機関のもてなしはとても印象的でした。心から歓迎されていると感じました。さらに、日本は科学分野において素晴らしい研究機関と資金援助があり、研究において最先端にいる国です。最後に、宇宙計画は本当に広範で大規模だと思います。彼らはこれまでにないミッションを遂行しており、それを経験できるのは驚くべきことです。

◆ ルーマニア 大学院生

芝浦工業大学（SIT）訪問は、私にとって最も印象的でした。現地の学生とディスカッションをした

り、彼らが現在開発している最新のテクノロジーを試したりすることができたからです。それ以上に、キャンパスそのものが本当に印象的で、さまざまな科学とテクノロジーが融合しているところが本当に素晴らしかったです。情報学と神経生物学を組み合わせることで、より良い生活のための製品を生み出すことを考案でき、バイオテクノロジストとして、国際経験の中で最高のものとなりました。

◆ イタリア 大学院生

日本が研究活動に充てる資源の多さに非常に感銘を受けました。芝浦工業大学には、社会問題の解決に大きく影響するプロジェクトに焦点を当て、約 20 の活発な研究室があります。世界から学び、世界に貢献する。それこそが研究するということなのです。

また、JAXA の訪問はただただ素晴らしいものでした。運用管制室を見ることができたことは、今でも信じられなく、幸運な機会でした。

第5グループ（環境・グリーン）

オンラインプログラム

◆ スロベニア 大学院生

ステュウット・ヴァーナム-アットキン氏の「日本との出会い」の講義には、いい意味での驚きがありました。逸話や日本の文化的な物を例に挙げながら、私たちを楽しませ、日本文化に親しみやすくするために最善を尽くしてくれました。講義はとても魅力的で、他の MIRAI プログラム同窓生達から最後に興味深い質問が投げかけられていました。それに加えて、グループ別プログラムのディスカッションはとても良く、私たちのグループでは互いを知り、訪日する前にソーシャルメディアを通して繋がることもできました。

招へいプログラム

◆ ドイツ 大学生

2 日目は早稲田大学を訪問しました。日本の若者や文化を知る良い機会だったと思っています。

3 日目は東芝未来科学館に行きました。ヨーロッパにはこのような参加型の博物館はあまりないので、参加者全員が大変興奮していました。

4 日目は、この一週間のハイライトのひとつで、富士山周辺に行き、日本の美しい自然を体験しました。日本について知る機会を持てたことにとても感謝しています。

◆ 英国 大学生

抹茶体験は最高でした。

私はこのプログラムのすべての経験を本当に満喫しました。環境とグリーン（NEDO やユーグレナなど）をテーマにした学習体験と、茶道や様々な文化施設（神社など）、博物館などの文化体験のバランスが絶妙でした。一番のハイライトは山梨県訪問で、一日都会から離れ自然がそのまま残された風景を見ることができたのは素晴らしかったです。

◆ マルタ 大学院生

天然のバイオ素材から高品質の燃料を生産するユーグレナ実証プラントに感銘を受けました。もうひとつ印象に残っているのは、早稲田大学で留学生を含む学生たちと交流です。学生たちの環境に対する考え方など、貴重な意見を聞くことができました。

第6ループ（中央アジア・コーカサス、法の支配）

オンラインプログラム

◆ タジキスタン 大学生

秋山真理さんのスピーチは有益であっただけではなく刺激的で、日本と我々の国の関係の重要性に光を当て、様々な分野において協調の必要性を強調するものでした。私は、ステュウット・ヴァーナム-アットキンさんの「日本との出会い」の講義を楽しみました。講義では、日本独自の伝統や、豊かな文化遺産への魅力的な洞察が得られました。ヴァーナム-アットキンさんの幅広い知識や、日本に対する情熱は、プレゼンテーション全体を通して伝えられました。彼は、茶道、日本の四季、書道のような伝統芸術、そして日常生活における和の大切さなど、日本文化の様々な側面を巧みに紹介してくれました。MIRAI 同窓生間のグループ別プログラムでは、全員が積極的に参加することができました。私たちは、考えを共有し、質問をし、ディスカッションをする機会を得ました。これは、テーマに対する理解を深めるだけではなく、コミュニケーションスキルを高めることでもありました。私たちは、連絡先を交換し、ソーシャルメディアでつながりました。

招へいプログラム

◆ ジョージア 大学生

MIRAI プログラムで最も印象的だったのは、UNAFEI の訪問でした。ジョージア出身の公共政策に携わる若手専門家として、UNAFEI の活動を知ることとはとても印象に残りました。刑事司法における国際協力と能力開発に対する彼らの取り組みを見学し、刺激を受けました。訪問中に共有された知見は強い関心を抱かせ、私は UNAFEI の任務に携わりたいと思うようになりました。今回の経験は、今後の私のキャリアにおいて、UNAFEI で働きたいという願望を確固たるものになりました。

◆ カザフスタン 社会人

プログラムの中で、印象に残ったことが幾つかあります。

1. 慶應義塾大学の校舎、雰囲気や歴史など

個人的には、慶應義塾大学は、学生のための環境とアカデミック・リソース（学問的資源）の面で、ヨーロッパの大学と肩を並べる大学であると思います。

西村あさひ法律事務所から聞いた話では、慶應義塾大学大学院法務研究科の卒業生は法曹界で非常に有望な人材になるとのことでした。

特に、財産法に関する講義は、諸外国、特に日本の民法に基づく制度がどのように機能しているのかを知る上で非常に興味深いものでした。

2. 西村あさひ法律事務所について

西村あさひ法律事務所では、競争法・国際投資法に関する講義を受けました。私は顧問弁護士事務所で働いた経験があるので、競争法・国際投資法に携わった西村あさひ法律事務所の弁護士の方々の真摯な仕事ぶりに強い感銘を受けました。

3. 山梨県立富士山世界遺産センターについて

富士山がやっとその姿を現し、素晴らしい思い出となりました。（雪で）キャンセルになる可能

性がありましたが、このセンターに訪問することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

◆ **タジキスタン 大学生**

MIRAI プログラムに参加して外務省を訪問したことは、忘れられない経験となりました。国際関係への理解が深まっただけでなく、外交に対する情熱に火がつけました。このような素晴らしい機会を与えていただいたおかげで、今後、外交官としてキャリアを積んでいきたいと思うようになったことは間違いありません。

◆ **トルクメニスタン 大学生**

このプログラムを通じて、素晴らしい経験をし、日本滞在を楽しむことができました。私は異なる視点から日本を探索しました。プログラムの中で学んだことは、法の支配に関するものでした。

印象的だったプログラムは以下になります。

1. 外務省での中央アジアとコーカサスに関する基調講演
2. 東京タワー
3. 慶應義塾大学
4. 西村あさひ法律事務所での国際競争法に関する講義
5. 最高裁判所の訪問で、日本の司法制度における裁判員制度や最高裁判所の建物のデザインについて学びました
6. UNAFEI の訪問、UNAFEI の活動、及び国際司法センター
7. 浅草の訪問は興奮に満ち、忘れられない瞬間でした。日本庭園の美しさに感動しました。
8. 富士山世界遺産センターは、日本の最も有名な観光スポットを見るのに最適な場所でした。このプログラムから得た経験を同僚と共有する予定です。

第7グループ（オンライン：文化・地方発見）

◆ **オーストリア 大学院生**

ヴァーナム-アットキンさんのプレゼンテーションでは、日本文化のさまざまな側面について、多くの情報を提供して下さったことがとても印象に残りました。また、時間の経過がとても速く感じるほどの楽しい時間を過ごさせていただき、関係者の皆様に感謝します。特に印象的だったことを二点挙げるとすれば、それは日本女性の伝統的な美しさのイメージと、それがどのように変化してきたか（お歯黒！）ということ、そして偉大な北斎の力士の絵においては、今日の取組と比べて体の動きがとても躍動的に描かれているかということです。

◆ **リトアニア 大学生**

個人的には2つ挙げたいと思います。1つ目は西表島と小樽市のバーチャルツアーです。驚いたのはライブ中継だったことです。すっかり魅了されました。得る情報量が全く違います。ライブ中継での視聴は、細部にまで気づくことが出来て感動します。2つのライブツアーは素晴らしかったです。2つ目は静岡プログラムです。NPO のプロジェクトから大きなヒントをもらいました。自国でも似たような課題に直面しています。NPO が取り組んでいます、ご紹介いただいた活動から、個人としての関わり方についてアイデアをいただきました。


◆ **キルギス 大学院生**


印象的だった交流体験は、奈良の学生との交流です。多くの観光客を魅了する神聖な場所の建築やデザインプランについてディスカッションをしました。

また、このプログラムで最も印象的だったのは、小樽市へのインタラクティブな旅行と奈良の古代遺跡の研究でした。これらは現代日本に古い生活様式が生きているという二重性の観点から日本の文化と歴史を明らかにしました。ステュウット・ヴァーナム・アットキン氏の講義も、古い日本の伝統の研究の一環として非常に有益であり、今の日本に反映されていることが分かりました。

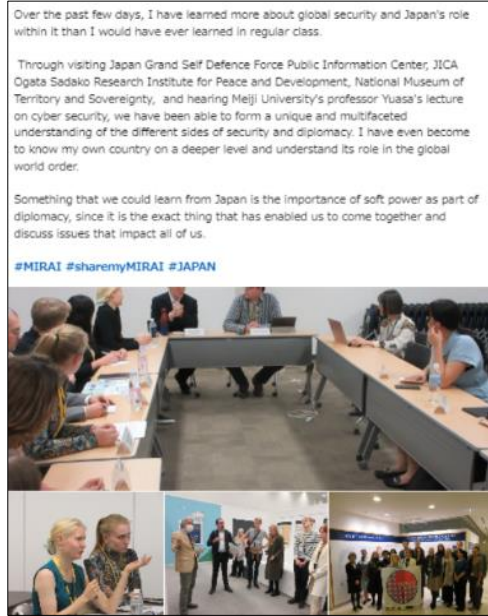
6. 参加者の SNS での発信内容 (抜粋)

第1グループ (西バルカン・平和構築)

<p>Words fail to capture the life-changing experience of my journey with the MIRAI Visiting Japan Program. Immersed by the stunning hospitality, kindness, rich culture and unparalleled beauty, every moment was an unforgettable experience. From the busy streets of Tokyo to the historic city of Hiroshima and the breathtaking allure of Miyajima island, each destination left a mark on my heart. Grateful to JICE and RYCO for the opportunity to explore, learn, and connect.</p> 	<p>2024年2月22日 (LinkedIn) 北アルバニア</p> <p>MIRAI プログラムで私は人生を変えるような経験をしました。素晴らしいもてなし、優しさ、豊かな文化、比類のない美しさ、一瞬たりとて忘れることができません。忙しく人々が行き交う東京、歴史の街広島、息をのむほどの美しさを湛えた宮島の思い出が私の胸に去来します。</p>
---	--

<p>Reflecting on an extraordinary journey of cultural exchange and peacebuilding bridging the Western Balkans and Japan through the MIRAI program.</p> <p>Grateful for the profound opportunity to immerse myself in Japan's rich culture and history, while engaging in meaningful discussions on peace and reconciliation. From enlightening sessions at MOFA, JICE, and JICA to poignant visits to Hiroshima Peace Memorial Park, every moment deepened my understanding of the importance of dialogue and understanding in fostering lasting peace.</p> <p>Standing in the shadow of history at Hiroshima Peace Memorial Park was a humbling experience, where the echoes of the past resonated with hope for a peaceful future. Witnessing the resilience of the human spirit amidst the devastation reminded me of the urgency and necessity of our collective efforts toward peace.</p> <p>Special thanks to Sophia University for hosting us and guiding us through insightful conversations. The experience of Japanese Calligraphy added an artistic dimension to our exploration of peace.</p> <p>Exploring the serene beauty of Miyajima Island and the vibrant streets of Asakusa in Tokyo provided a perfect balance, reminding me of the power of harmony in diverse landscapes.</p> <p>This journey has profoundly shifted my perspective on peace and its approach, reminding me that it's not just a destination but a continuous journey of understanding, empathy, and collaboration.</p> <p>#MIRAI #MIRAIProgram #Peacebuilding</p> 	<p>2024年2月23日 (LinkedIn) コソボ</p> <p>西バルカン諸国と日本の文化交流、平和構築を目的とした MIRAI プログラムについて記述します。平和構築と和解について意義深い話し合いをする一方、日本の豊かな文化に触れることができました。外務省や JICA での講義の後、私たちは痛ましい歴史を刻んだ広島平和記念公園を訪れました。そこで、平和を希求するには対話と相手への理解が必要であることが痛いほど理解できました。暗い歴史を刻んだ公園に佇むと、亡き人々の平和への願いが迫ってくるようで、謙虚な気持ちになりました。広島の人々の精神的強さを目の当たりにし、平和に向かって皆で努力する必要性に気付かされました。上智大学では意義深い意見交換の機会をいただき感謝します。書道の体験も平和構築の旅に芸術的な一面を添えてくれました。</p> <p>宮島の静謐な美しさの一方、浅草は活気に満ちており、そうした違いがうまく調和しているのだと思いました。このプログラムに参加してみて平和の大切さ、それを実現するためには継続的な他者への理解、共感、協力が必要だとわかりました。</p>
--	---

第2グループ（外交・安全保障）

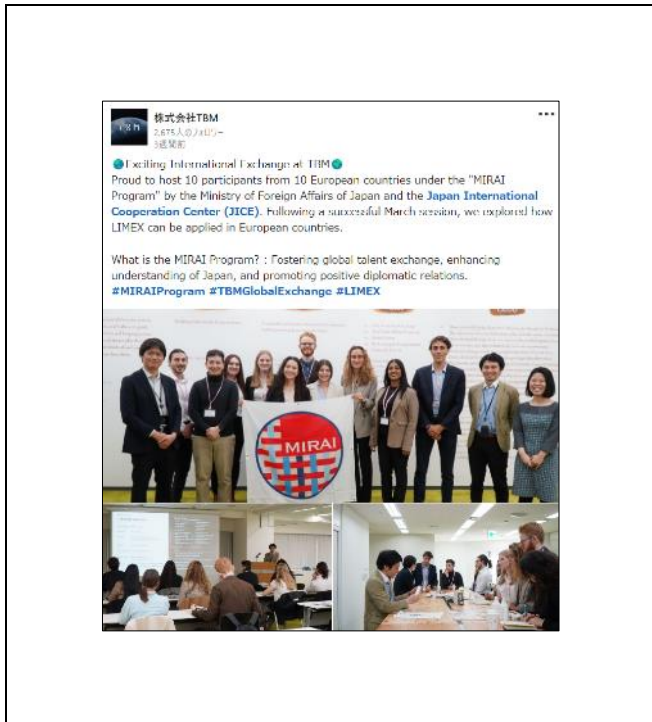


2023年11月19日（Facebook等）ハンガリー
 明日は防衛省訪問と報告会があり、これですべての
 プログラムが終了となります。
 これほど疲れたのは、いつのことだったか思い出せ
 ません。話す気力もないくらいですが、それほど価値
 ある滞在だったことは間違いありません。このプロ
 グラムは私の想像をはるかに超えて素晴らしかった
 です。また、多くの経験もしました。
 六義園で和傘のジャグリング（日本の伝統的な江戸
 太神楽）、茶道、東京国立博物館（数ヶ月迷子になり
 そうなくらい大きい場所！素敵なものもたくさん買
 えるので、もし行ける場合はお土産用に10万フォリ
 ントくらい用意しよう！）、自衛隊陸上情報センター、
 等々。
 写真を見てもらえれば訪れた場所の素晴らしさをお
 分かりいただけたと思います！（省略）

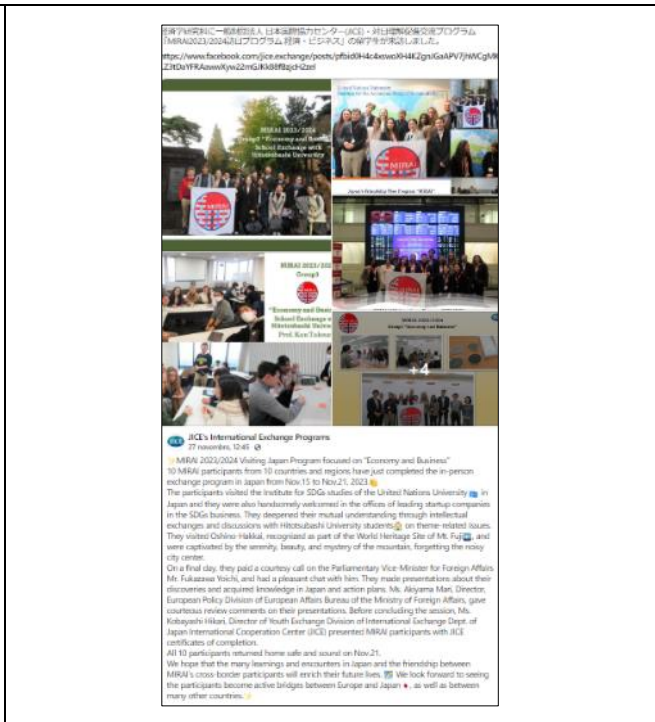
2023年11月20日（Facebook等）フィンランド
 ここ数日間で、教室だけでは決して学ぶことができ
 ない国際安全保障と日本の役割について多く知るこ
 とができました。
 陸上自衛隊広報センターやJICA 緒方研究所、領土・
 主権展示館での視察、明治大学の湯浅教授のサイバ
 ーセキュリティに関する講義などを通して、安全保
 障と外交について、独自且つ多方面な理解を得るこ
 とができました。私自身の国（フィンランド）につい
 てもより深く知るきっかけとなり、世界秩序におけ
 る役割についてより深く理解できるようになりました。
 外交におけるソフト・パワーの重要性について、私た
 ちは日本から学べるものがあると感じました。それ
 こそが、私たち全員に影響を与える問題について、一
 緒になって議論することを可能にするのだと思いま
 す。

第3グループ（経済・ビジネス）

<p>☞ So what did we do on the first day in Japan? ☞</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ Visit a start up company that produces an alternative to paper and plastic LIMEX using more than 50% limestone! TBM Co., Ltd. aims at "bridging today and the future we want". ☞ Just in 12 years they built a solid foundation of over 20 000 companies they are collaborating with. We had a great discussion with the experts proposing possible ways of entering the market with this pioneer sustainable solution in our countries. ☞ ☞ Learn about history and operating of Tokyo Stock Exchange. Since red is the colour of prosperity in Japan and other Asian countries, when stock prices increase they are displayed in red colour ☞ which is the opposite for us, Europeans. ☞ ☞ Have a lecture about the one and only UN University - Institute for the Advanced Study of Sustainability ☞ Since 1975, collaborating with many research institutions around the world, it has been offering education for the future generation. <p>All of this was possible thanks to the Japan International Cooperation Center (JICA) and Ministry of Foreign Affairs of Japan. ☞ I truly appreciate this opportunity to learn as much as possible about Japan, its economy & culture and be one part of the bridge between Japan and Europe for the future - which is the objective of the MIRAI Program. ☞</p> <p>#mirai #miraiatlansai #sharemymirai</p> 	<p>☞ As the #MIRAI program draws to a close, I'm excited to finally share my experiences since the program kept me occupied until now. Although it has concluded, there's much I'm eager to discuss and reflect upon now that I am back home.</p> <p>[17 Nov]</p> <p>☞ It was a thrilling day at Hokkaido University, where we dove deep into the world of game theory during a captivating lecture, and engaged in strategic games. We forged meaningful connections with local students. ☞</p> <p>☞ We had the pleasure of exploring the campus, a blend of modern facilities and rich history. An inspiring environment for academic pursuits. ☞</p> <p>[18 Nov]</p> <p>☞ On this day we had the opportunity to explore the pilgrimage circuit to Mount Fuji which was an unforgettable journey. ☞</p> <p>Starting at Chino Hekia, the focus on purification was a serene beginning. ☞ The crystal-clear waters and ancient traditions inspired a sense of clarity and reverence.</p> <p>Kitayoshi Hongu Fuji Shogen Jinja marked our entry to the mountain Fuji, where wishes took flight. ☞ The spiritual significance and the journey's commencement set the tone.</p> <p>The Yamashiro Prefecture Fujisan World Heritage Center was an eye-opening experience. ☞ Learning about Fujii's importance and donning VR glasses to witness the peak over sea-leveling. The mountain's majesty felt tangible, even from a distance.</p> <p>Mount Fuji stands as a cultural, spiritual, and natural symbol, embodying resilience and beauty. ☞ Its significance transcends borders, reminding us of the power of nature and the human spirit. ☞</p> <p>#HokkaidoUiversity #MountFuji #MIRAI #ShareMIRAI #MIRAIatlansai</p> 
<p>2023年11月16日（Facebook等）スロバキア 日本での初日は何をしましたしょう？ 石灰石を50%以上使用し、紙やプラスチックに代わる LIMEX を製造する新興企業を訪問！株式会社TBMは「私たちが望む現在と未来の架け橋」となることを目指しています。わずか12年で、10,000社を超える協力企業との強固な基盤を築きました。私たちは、このパイオニア的な持続可能なソリューションで市場に参入する可能性を提案する専門家たちと、大いに議論を交わしました。 東京証券取引所の歴史と運営について学びました。日本や他のアジア諸国では赤は繁栄の色であるため、株価が上昇すると赤色で表示されます。これは我々ヨーロッパとは正反対です。 国連大学サステナビリティ高等研究所について講義を受けました。1975年以来、世界中の多くの研究機関と協力し、次世代のための教育を提供してきました。 日本、日本経済、日本文化についてできる限り学び、日本とヨーロッパの将来の架け橋の一端を担うことができる機会を得たことに心から感謝しています。これがMIRAIプログラムの目的です。</p>	<p>2023年11月22日（Facebook等）ポルトガル MIRAI プログラムが終了し、（中略）帰国した今、話したいこと、振り返りたいことがたくさんあります。 [11月17日] 一橋大学での講義では、ゲーム理論の世界を深く掘り下げ、戦略的なゲームに取り組みました。日本の学生たちとも有意義な交流ができました。 近代的な施設と豊かな歴史が融合したキャンパスを見学するのは楽しかったです。学問を追求するのにとても素晴らしい環境でした。 [11月18日] この日、私たちは富士山への巡礼の道を知る機会があり、忘れられない一日になりました。 スタートの場所は忍野八海でした。身を浄め、穏やかな始まりになりました。澄み切った水と古くからの伝統は、透明感と同時に畏敬の念も感じました。 （中略） 山梨県富士山世界遺産センターは驚きの体験でした。富士山の重要性を学び、VRメガネをかけて山頂を目の当たりにし、畏敬の念を抱きました。（中略） 富士山は文化的、精神的、そして自然のシンボルであり、逞しさと美しさを体現しています。その意義は国境を越えます。</p>

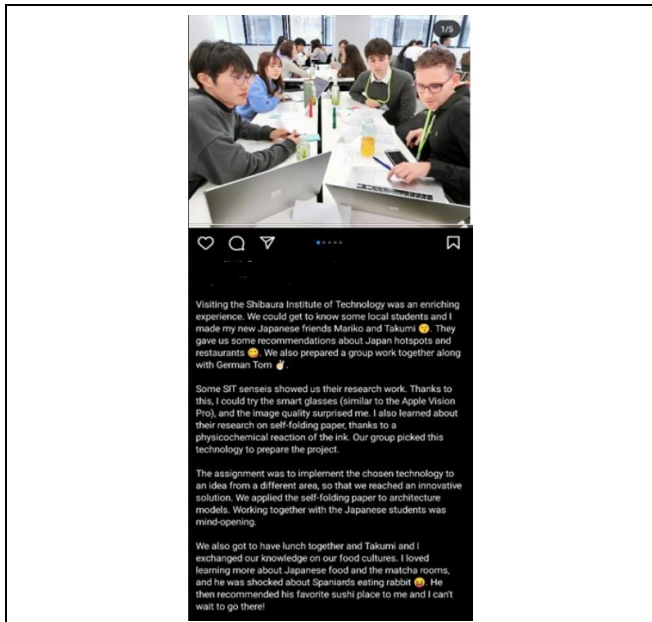


2023年11月16日 (LinkedIn)
 (株) TBM で刺激的な国際交流

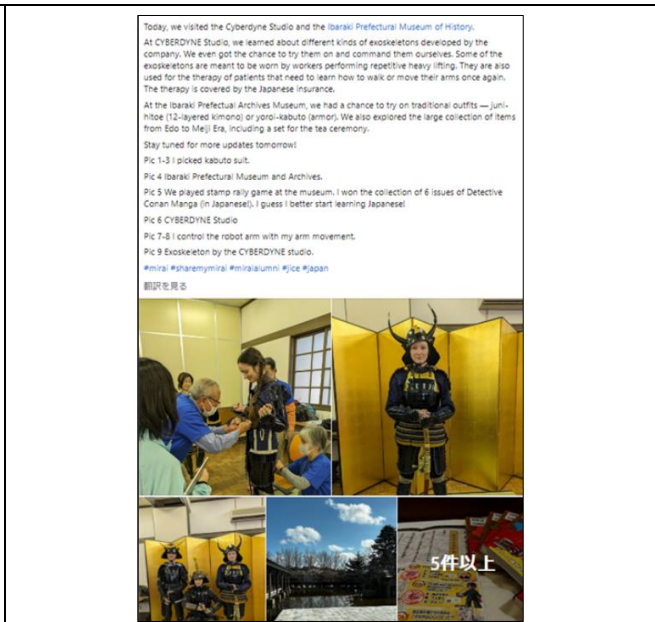


2023年11月30日 (Facebook) 一橋大学
 経済学研究科に一般財団法人 日本国際協力センター (JICE) ・対日理解促進交流プログラム 「MIRAI2023/2024 訪日プログラム 経済・ビジネス」の留学生が来訪しました。

第4グループ (科学・技術)




2024年2月15日 (Instagram) スペイン
 芝浦工業大学の訪問は、充実した経験でした。地元の学生と知り合うことができ、新しい日本人の友達も



2024年2月17日 (Facebook) ポーランド
 MIRAI 4日目
 今日は、サイバーダイナスタジオと茨城県立歴史館

<p>できました。（中略）</p> <p>SITの先生方は、研究を見せてくれました。そのおかげで、スマートグラス（Apple Vision Pro に似ている）を試すことができ、その画質に驚きました。また、インクの物理化学反応による、自律折り紙（セルフフォールディング）の研究についても学びました。私たちのグループは、この技術をプロジェクト（学校交流プログラムのグループ発表の課題）のために選びました。（中略）私たちはセルフフォールディングを建築模型に応用し、また日本の学生たちとの共同作業はとても刺激的でした。一緒に昼食をとる機会もあり、日本人の友人とお互いの食文化について知識を交換しました。私は日本食や茶室について詳しく知ることができまし、（後略）</p>	<p>を訪れました。</p> <p>サイバーダイナスタジオでは、同社が開発した様々な種類の外骨格（装着型サイボーグ）について学びました。また、実際に装着し、操作することもできました。外骨格の中には、力仕事を繰り返す労働者が装着するものもあります。また、歩き方や腕の動かし方をもう一度練習する必要がある患者の治療にも使われています。また、治療には日本の保険が適用されません。</p> <p>茨城県立歴史館では、十二単や鎧兜を試着することができました。また、江戸時代から明治時代にかけての茶道具など、数多くの所蔵品を見ることができました。</p> <p>明日の更新をお楽しみに！</p>
---	---

第5グループ（環境・グリーン）

 <p>Exploring the Interplay of Nature and Culture in Japan</p> <p>Today's #MIRAI experience was a deep dive into the heart of Japan's cultural and natural heritage, highlighted by visits to ancient shrines and the iconic Mount Fuji, a symbol of both nature and culture.</p> <p>Immersing in Japanese Culture at Ancient Shrines Our journey began with visits to time-honored shrines, where each structure and ritual offered a unique insight into Japanese culture and traditions. The serene atmosphere provided a reflective space to appreciate the deep-rooted spiritual and historical facets of Japan.</p> <p>The Dual Heritage of Mount Fuji Witnessing the majestic Mount Fuji was a moment of awe. It stands not just as a natural wonder but also as a cultural icon, deeply embedded in Japanese art, literature, and spirituality. The mountain's dual recognition as a World Natural Heritage and Cultural Heritage site speaks volumes about its integral role in Japanese identity.</p> <p>Learning and Reflection at the Mt. Fuji World Heritage Center The visit to the Mt. Fuji World Heritage Center further enriched our understanding. The center beautifully illustrated how Mount Fuji transcends its physical presence to become a symbol of cultural heritage, influencing various aspects of Japanese life and consciousness.</p> <p>Today was a reminder of how nature and culture are intricately woven together, and how we should work on preserving nature to preserve society and our culture.</p> <p>#sharemyMIRAI #MIRAIalumni</p>	<p>2023年11月18日（Facebook等）ノルウェー</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 日本の自然と文化の関わりを探る <p>今日の体験は、日本の文化と自然遺産の中心に深掘りするもので、古代の神社や、自然と文化の象徴である富士山の訪問がハイライトになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 古くからの神社で日本文化に浸る <p>私たちの旅は、由緒ある神社を訪れることから始まりました。それぞれの社殿や儀式は、日本の文化や伝統に対する興味深い洞察をもたらしてくれました。</p> <p>静寂に包まれた雰囲気は、日本の精神的、歴史的な側面に深く根ざしたものを感じるための内省的な空間を提供してくれました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 富士山世界遺産センターでの学びと振り返り <p>富士山世界遺産センターの視察は、私たちの理解をさらに深めました。センターでは、富士山がその物理的な存在を超え、文化遺産の象徴となり、日本人の生活や意識のさまざまな側面に影響を与えていることが紹介されていました。</p> <p>自然と文化がいかに複雑に絡み合っているか、そして社会と文化を守るためにいかに自然保護に取り組むべきかを思い知らされました。</p>
---	--

It's an honour to be participating in the 2023 MIRAI programme in Japan this week, focusing on the environment and green solutions. It's been really valuable to gain first-hand insights into the efforts of the Japanese government and private sector to cut emissions in some of the most challenging arenas, such as heavy transport and aviation. Bey... See more



2023年11月18日 (Facebook) アイスランド

環境とグリーンをテーマに今週から始まる MIRAI プログラムに参加できて光栄です。

大型輸送や航空といった最も困難な分野における CO₂ 排出量削減のための日本政府と民間セクターの取り組みについて直接学ぶことができ、本当に貴重な経験となりました。

ユーグレナの最先端バイオ燃料実証プラントへの視察、早稲田大学での学校交流、NEDO の技術関連の講義にとどまらず、日本に滞在し、日本文化を実際に体験することがどれほど畏敬の念を抱かせるものであったかを言葉にするのは難しいです。日本の日常生活に根付いている美意識、哲学的価値観、敬意、清潔さ、規律は、間違いなく私が慣れ親しむことができるものです。

第6 グループ (中央アジア・コーカサス、法の支配)



jale.rafiyeva Empowered by insights from the lecture at the Mirai program, I'm excited to share my reflections on Japan's dynamic policies towards Central Asia and the Caucasus. From Human Resource Development to the Green policy, the journey through history and future possibilities has been truly enlightening. As a lawyer in energy law, the potential collaboration in this field, particularly contribution with decarbonisation technologies is inspiring. Grateful for the opportunity to learn and contribute to the dialogue. #MIRAI #sharemyMIRAI



My participation in the Mirai Program allowed me an invaluable glimpse into Japan's culture and rule of law. The experience left an indelible mark on my character by instilling within me a profound appreciation for tradition, discipline, fairness, justice, personal responsibility, humility, patience, and harmony – values that I will carry with me... See more

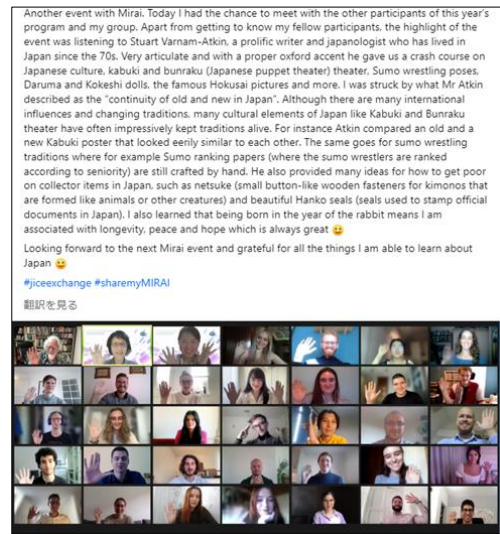
2024年1月16日 (Instagram) アゼルバイジャン
MIRAI プログラムでの講義から得た洞察をもとに、中央アジアとコーカサス地域に対する日本のダイナミックな政策について、私の考察を分かち合いたいと思います。人材育成からグリーン政策まで、歴史と未来の可能性を巡る旅は、実に有意義なものでした。エネルギー法の弁護士として、この分野での協力の可能性、特に脱炭素技術への取り組みはインスピレーションを与えてくれます。学び、意見交換に参加する機会を与えていただいたことに感謝しています。

2024年1月20日 (Facebook) タジキスタン
MIRAI プログラムに参加したことで、私は日本文化と法の支配を垣間見ることが出来ました。この経験は私の心に深く刻まれ、伝統、規律、公正、正義、個人的責任、謙虚さ、忍耐、調和に対する理解を深めました。私はこれからもこれらの価値観を大切にしていきたいと思っています。

第7グループ（オンライン；文化・地方発見）



2023年10月7日（Facebook）ブルガリア
こんにちは、みなさん。
JICEの「MIRAI」プログラムへの参加が決定したことをご報告させていただきます！これは、異なる地域からの異なる背景を持つ若者達を結びつける、他にはない経験となります。
今日はその第一日目が開催され、70年代から日本に在住の英国人で作家兼ナレーターであるステュウット・ヴァーナム-アットキンさんの講義や、他の参加者との顔合わせがありました。ステュウット・ヴァーナム-アットキンさんの日本文化に関する講義はとても面白かったです。彼の知見を通して、私はこの魅力的な国の豊かな遺産と伝統をさらに深く探究することができました。プログラムにおいて私が学んだことのすべてを、できる限り皆さんと共有していきたいと思っていますので、楽しみにしてください！



2023年10月7日（Facebook）スウェーデン
MIRAIの訪日プログラムが始まりました。今日は、私のグループと、今年度の他のプログラム参加者に会う機会にも恵まれました。参加仲間との出会いとは別に、今日のハイライトは、70年代から日本に住み、日本研究者で多数の著作を持つステュウット・ヴァーナム-アットキンさんの講義でした。（中略）「日本の古いものと新しいものの継続性」というアットキンさんの描写がとても印象に残りました。海外からの影響や伝統の変化は多々ありますが、歌舞伎や文学では、日本文化の要素が多く、点で伝統として見事に受け継がれているようです。例えば、アットキンさんは、不気味なほどに似ている歌舞伎の古いポスターと新しいポスターを比較して見せてくれました。（中略）彼はまた、根付（動物や他の生き物を形作られた着物のアクセサリ）や美しい印鑑（日本において正式な文書に押される印）など日本でのコレクションアイテムをいかに集めるかについて多くのアイデアを提供してくださいました。また、ウサギ年生まれの方は、長寿、平和、希望と結びついていることも学びました。次回のプログラムを楽しみにし、日本について学ぶことができるすべてのことに感謝しています。

Today, as part of the #MIRAI project we had an online trip to Shizuoka prefecture. Today's lectures focused on Shizuoka as Culture City of East Asia (year 2023). It was very interesting, as we got to know more about managing and development of culture projects, but also about future ideas of Japanese culture itself. During the whole morning we were able to learn different strategies and guidelines that have been successful in managing cultural events to foster culture and make it profitable.

Shizuya Hirotsugu, from the Government of Shizuoka, gave us an insight on how the culture activities are developed and managed in order to foster social engagement, artistic production and permanence of different traditions. Also, he showed us the measurement of the economic value of the cultural projects. He proved the importance that culture has on various fields – social, cultural and economic. And so, we were able to see how, in Shizuoka prefecture, are managing cultural events to foster culture and make it attractive – on one hand for the citizens and tourists and, in the other, for companies and institutions.

Also, I must mention, the importance given to the Sustainable Development Goals by the project managers is becoming a must if developing projects. It is a must while developing cultural events with international projection.

Apart from the culture management I realized many subtle details that are very Japanese. First, sustainability is an important issue that Japanese people are very concerned about and which is coherent with the strategies implemented by the Japanese Government.

Furthermore, Shizuoka's Government remarked the importance given by them to "peace and happiness" not only for the Japanese society, but to promote in the whole East Asia. It was present in some project's objectives such as "fulfilled citizens", "leading to peace and happiness in East Asia" and "realization of global harmony and peace".

And last, but not least, I was surprised by the consideration that Japanese have of Mount Fuji (that I was able to see from Shizuoka streets). We all have seen it in images and in different arts expression. A great mountain with snow in top – a very iconic representation of Japanese natural environment. But further, Japanese consider it a natural element just after a cultural sacred place. As it has a strong influence over the people surrounding Mount Fuji and over Japanese culture and its artistic development.

#sharemyMIRAI #MIRAIaJalumni



Today's Mirai program moved all the way up north to Hokkaido and Otaru city. Otaru comes from the Ainu word otarunai or sandy beach, and the city is today known as the city of glass (explains the sand part). At first we were treated by the majestic views of the coast from a drone, seeing where wild sea lions and zoo penguins lived almost side by side, by the sea side.

The view over the coastline was so romantic, something that carried on into the beautiful canals in the city center of Otaru. You could really tell how the city has historically been a port city, with an international and trading city vibe. All the glass shops showed off impressive hand made wares, and there seemed to be patisseries along with Japanese food in every street corner. Like many of Japan's cities, Otaru boasts an impressive annual festival called Otaru snow light path festival where the whole city gets decorated in snow statues and lights. Can't wait to visit in the future!

#jiceexchange #mymirai



2023年10月16日 (LinkedIn) スペイン

今日は MIRAI プロジェクトの一環として、静岡県へバーチャルツアーを体験しました。今日の講義は、東アジア文化都市 2023 としての静岡県に焦点を当てたものでした。文化プロジェクトの推進について深く知ることができ、さらに日本文化自体の細かい部分についても知ることができ、非常に興味深いものでした。午前中、私たちは文化を促進し、収益を上げるために文化イベントをマネジメントした成功事例の戦略とガイドラインを多く学ぶことができました。

静岡県理事の渋谷浩史氏は、社会のつながりや、芸術、さまざまな伝統を守り生み出すために、文化活動をどのように発展させ、マネジメント方法の考察を示してくれました。(中略)

文化マネジメントの運営とは別に、非常に多くの日本らしい緻密さがあることに気づきました。まず、持続可能性は日本人が高い関心を持つ重要な課題であり、日本政府が実施する戦略と一致しています。

さらに、静岡県庁の講義では、日本社会だけでなく東アジア全体で推進する「平和と幸福」の重要性を述べていました。(中略)

最後になりましたが、(静岡の街路から見えた)日本人の富士山に対する思いや考え方に驚きまし

2023年10月18日 (Facebook) スウェーデン

今日の MIRAI プログラムは北海道の小樽市まで移動して行われました。小樽という市名はアイヌ語の『オタルナイ』(砂浜)という言葉が由来で、現在では、ガラスの街として有名だそうです。ドローンを使って小樽の美しい沿岸を上空から一望するところから始まりました。海の傍で、トドやペンギンが隣り合わせになって飼育されている水族館もありました。海岸線はとてもロマンチックで、その光景は小樽市の中心部を流れる運河へと続いていました。港湾都市として、国際貿易で栄えたという歴史がよく分かりました。ガラスショップはどれも手作りの繊細なガラス製品でいっぱいでしたし、角を曲がればすぐにお菓子屋や食べ物の店がありました。また、毎年恒例の小樽雪あかりでは、市内の各所にたくさんの雪像が作られ、それらがライトアップされるのです。将来、実際に小樽を訪ねるのが楽しみです!

た。(中略)日本人は富士山を自然的要素より、神聖な場所とした文化的要素があると考えています。富士山を取り巻く人々、そして日本の文化と芸術の発展に強い影響を与えているからです。

2023年10月19日 (Facebook) アーツカウンシルしずおか

対日理解促進交流プログラム MIRAI2023 のオンライン・ビジティング・ツアーにてお話をさせていただきました。(中略)静岡県庁の渋谷理事からの東アジア文化都市に関するプレゼンテーションの後に、アーツカウンシルしずおかの考える文化・芸術を地域振興に結び付ける考え方や取組について話させていただきました。

また「UNMANNED 無人駅の芸術祭」と「しゃぎり」の活動を映像と併せて、クロスメディアしまだの大石さん、兒玉さん、しゃぎりフェスティバル実行委員会の福田さん、榎本さんにご担当いただきました。お忙しい中、ご対応いただきありがとうございます。

参加者からは「富士山のオーバーツーリズムにどう対応しているか?」、「それぞれの活動は県外含めその他の地域にも応用できるものか?」、「活動に参加したい場合は?」など、踏み込んだ質問もあり、理解力の高さが感じられました。また、英語で交わされるチャット欄に「Akiya」という単語が当たり前のように出てきており、我々もパイロット事業のひとつとして取り組んでいる空き家活用が見通す先はもっと広がりがあるのかもしれないという気づきもありました。

(後略)



プログラム参加中の様子や参加者の声は SNS を通して広く発信されています。
X(旧 Twitter), Instagram, Facebook ハッシュタグ : #MIRAI2023 #SharemyMIRAI